

2016年3月期決算説明会

2016.5.31

NIPPON YAKIN

日本冶金工業株式会社

本日のアジェンダ

1. 2016年3月期決算サマリー

執行役員経理部長 小林 伸互

2. 足元の状況と今後の取り組み

代表取締役社長 木村 始

＜参考＞主要データ(連結ベース)

2016年3月期決算のポイント

- ① 厳しい環境下、減収・減益ながらも黒字を確保。復配を実現。
- ② 石油・ガス分野の低迷と中国経済の減速等により高機能材部門は販売数量が前年度比減少。
- ③ 販売価格はLMEニッケル相場下落の影響を受け下落したものの、一定のロールマージンは確保。
- ④ LMEニッケル相場は底を打った形で低位安定。ステンレス一般材・高機能材とも需給環境は厳しいながらも底堅く推移するものと想定。
- ⑤ 「中期経営計画2014」に基づく高機能材事業強化等の諸施策を着実に実行して黒字を継続し、安定した収益体質の確立へ

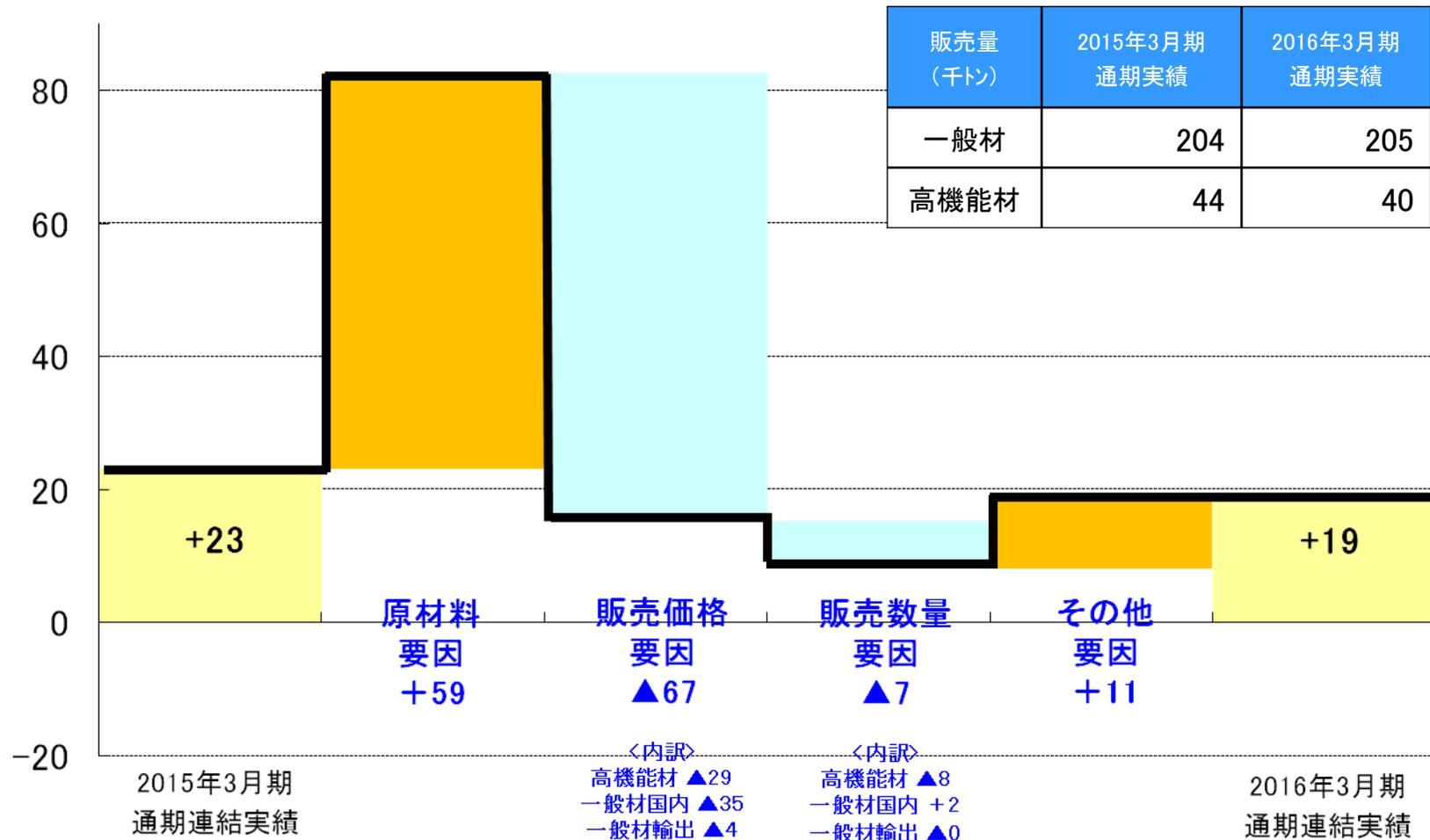
損益計算書 連結 概要

	2015年3月期 通期実績 (億円)	2016年3月期 通期実績 (億円)	前年度比 (億円)	前年度比 (%)
売上高	1,295	1,210	▲85	▲6.5
営業利益	23	19	▲4	▲18.4
経常利益	13	5	▲8	▲59.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	21	8	▲13	▲60.8
高機能材部門 売上高比率(%)	36.7	34.1		

(ご参考)ニッケルLME期中平均価格: 2015年3月期通期7.62US\$/Lb、2016年3月期通期4.70US\$/Lb。

期中平均為替レート: 2015年3月期通期109.93円/\$、2016年3月期通期120.14円/\$。

営業利益変動の要因分析(前年度比較:億円)



貸借対照表 連結 概要

	2015年3月末 (億円)	2016年3月末 (億円)	前年度比 (億円)	2015年3月末 構成比(%)	2016年3月末 構成比(%)
現金・預金	50	49	▲1	3.6	3.6
売掛債権	210	202	▲8	14.9	15.0
たな卸資産	327	285	▲43	23.2	21.1
固定資産	818	809	▲9	58.0	60.0
その他資産	5	4	▲1	0.4	0.3
【資産合計】	1,410	1,348	▲62	100.0	100.0
借入金及び社債	635	585	▲51	45.1	43.4
その他負債	432	422	▲11	30.6	31.3
【負債計】	1,068	1,006	▲61	75.7	74.7
【純資産計】	343	341	▲1	24.3	25.3
自己資本比率(%)	24.3	25.3			

キャッシュフロー計算書 連結 概要

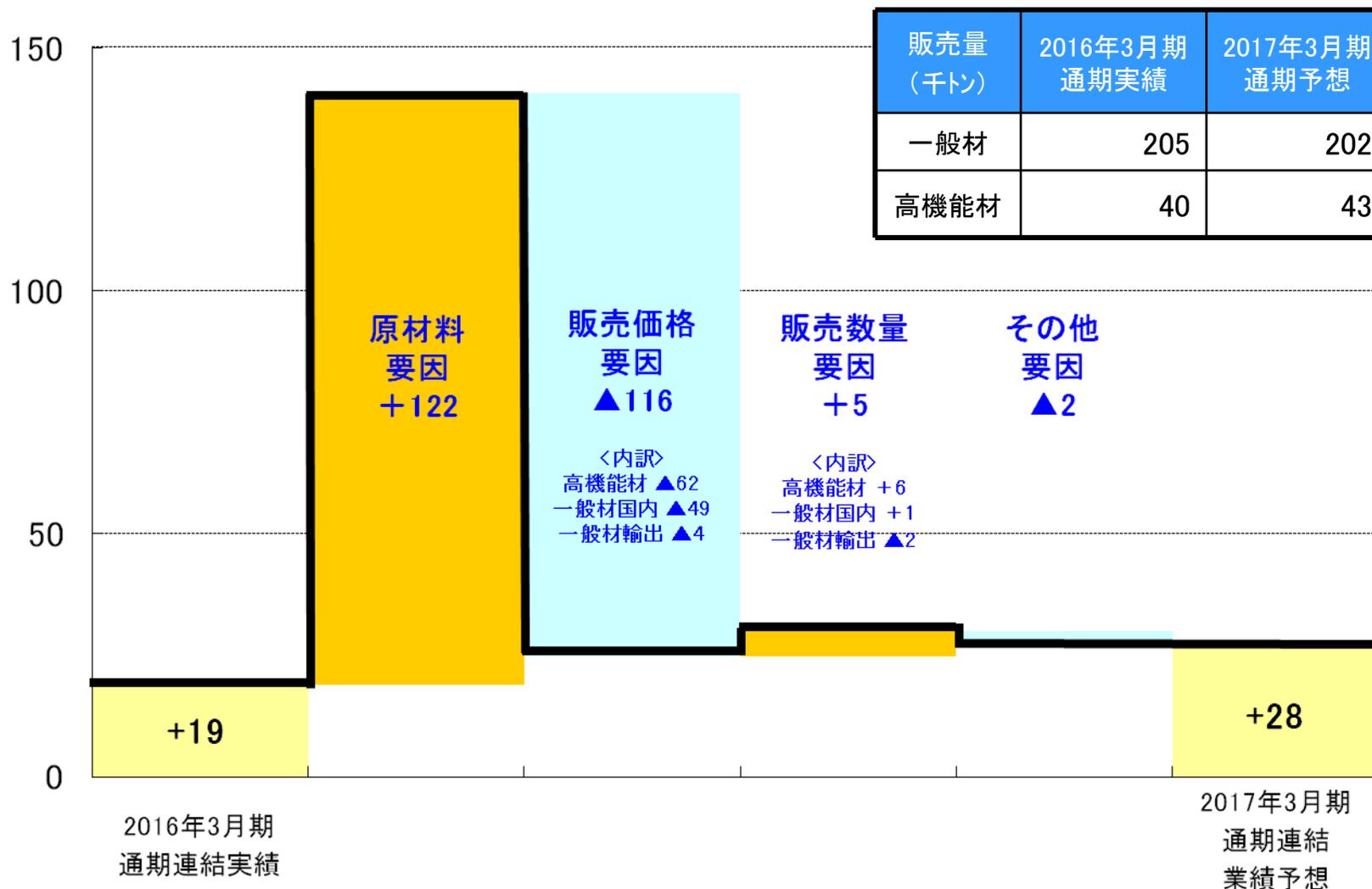
	2015年3月期 通期実績(億円)	2016年3月期 通期実績(億円)	前年度比 (億円)
営業活動によるキャッシュフロー	12	68	56
税金等調整当期純利益	13	7	▲7
減価償却費	35	36	1
売上債権の増減額(△は増加)	▲3	8	11
たな卸資産の増減額(△は増加)	▲28	43	71
仕入債務の増減額(△は減少)	▲10	▲23	▲13
法人税等の支払額	▲2	▲0	1
その他	7	▲2	▲9
投資活動によるキャッシュフロー	▲40	▲27	12
有形・無形固定資産の取得による支出	▲43	▲36	7
その他	3	9	6
フリー・キャッシュフロー	▲28	40	68
財務活動によるキャッシュフロー	11	▲41	▲51
借入金及び社債の純増減額(△は減少)	15	▲49	▲64
その他	▲4	9	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	▲16	▲2	14

2017年3月期連結業績予想(前年度比較:億円)

	2016年3月期	2017年3月期		
	通期連結実績 (億円)	【5/9公表】 通期連結 業績予想 (億円)	前年度比 (億円)	前年度比 (%)
売上高	1,210	1,100	▲110	▲9.1
営業利益	19	28	9	48.0
経常利益	5	14	9	167.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	8	8	▲0	▲2.6

(前提)ニッケルLME期中平均価格:4.00US\$/Lb、期中平均為替レート:108.00円/\$。

営業利益変動の要因分析(前年度比較:億円)



本日のアジェンダ

1. 2016年3月期決算サマリー

執行役員経理部長 小林 伸互

2. 足元の状況と今後の取り組み

代表取締役社長 木村 始

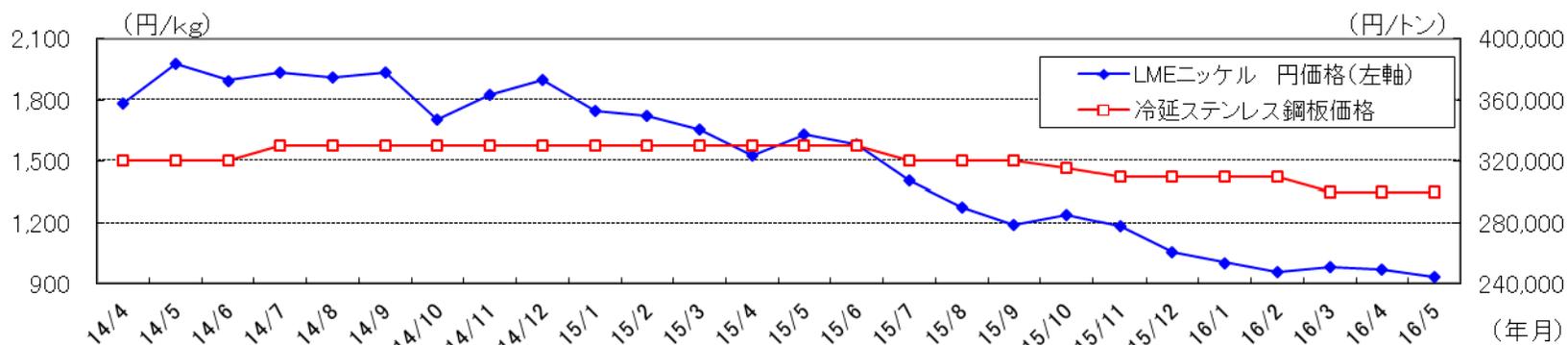
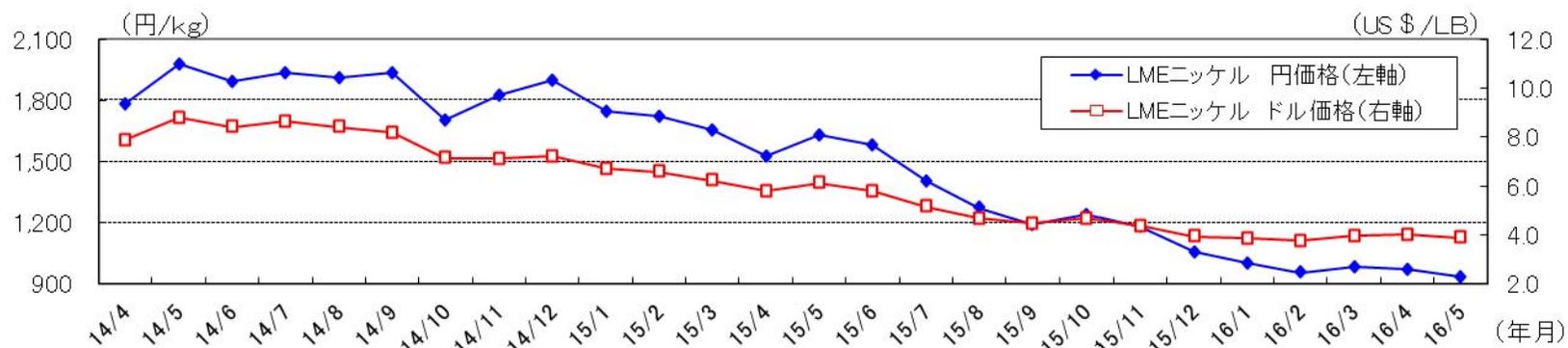
＜参考＞主要データ(連結ベース)

ステンレス一般材の状況

	前年度下期	今年度想定
国内	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車関連の生産調整と、急激な円高による輸出案件の減少が響き調整局面であったが、業務用厨房や半導体、造船業が需要旺盛 ➤ 輸入材は一定量の流入 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 足元は円高と不安定なLMEニッケル相場から、積極的な購買意欲が見られず調整局面が続いているが、建設関連需要の盛り上がり期待 ➤ 輸入材は為替動向によって若干数量に変化がみられるが、前年度並の数量で推移すると想定
海外	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 上期に引き続き、LMEニッケル相場の下落と、中国・韓国・台湾の過当競争でドル価格の市況は依然として厳しい状況 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 需給バランス改善は当面見込めず、厳しい受注環境のままと想定 ➤ 為替、原料価格を見ながらの慎重な商談姿勢が続く見込み

ニッケル・ステンレス価格の推移(月次)

- ▶ LMEニッケル価格は期を通じて下落
- ▶ 足元は\$4.0/lb前後で推移

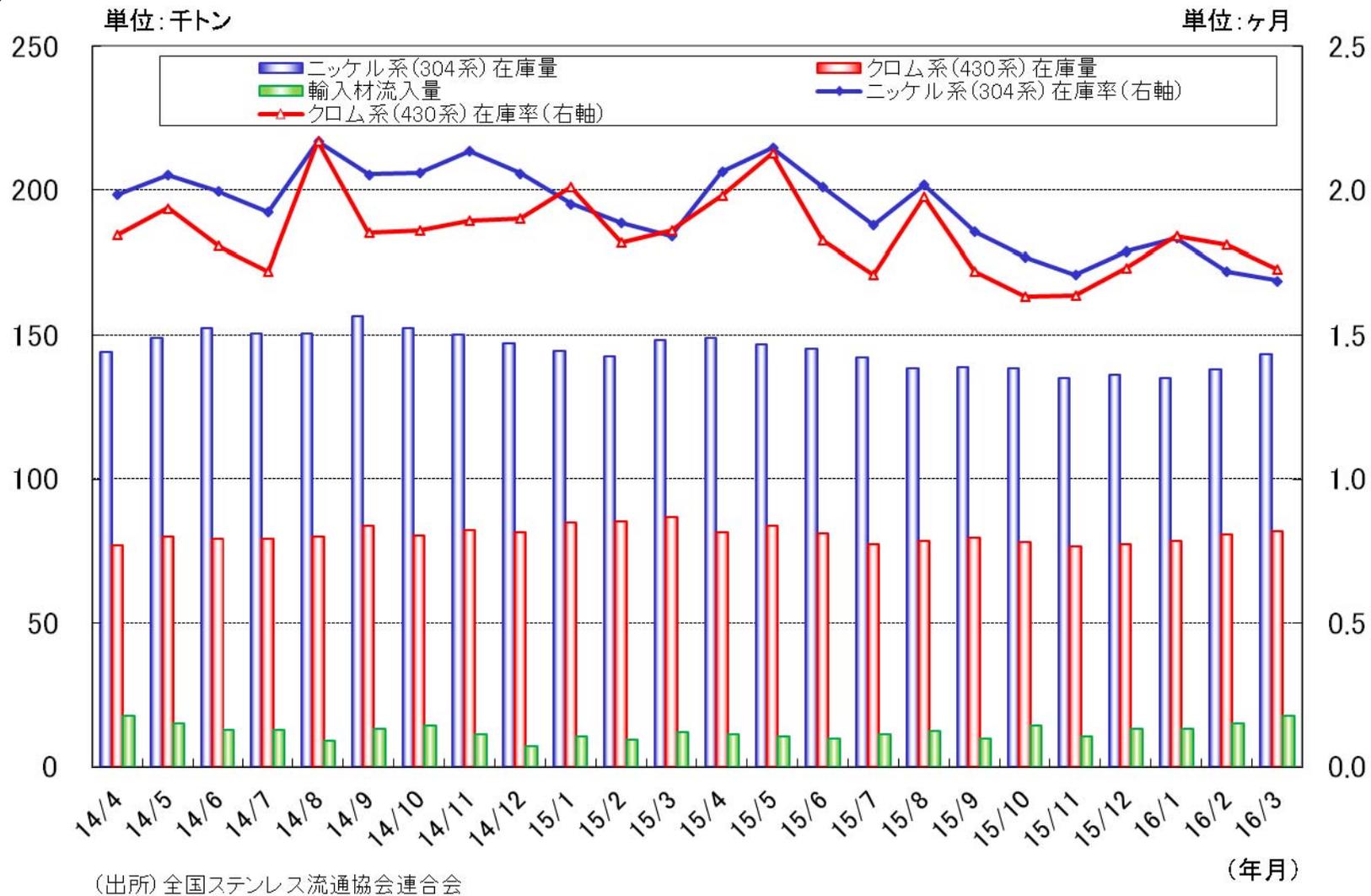


(注1) 冷延ステンレス鋼板: 東京SUS304種18-8、2.0ミリ。

(注2) 2016年5月価格は冷延ステンレス鋼板は直近、ニッケル価格は5/27までの平均。

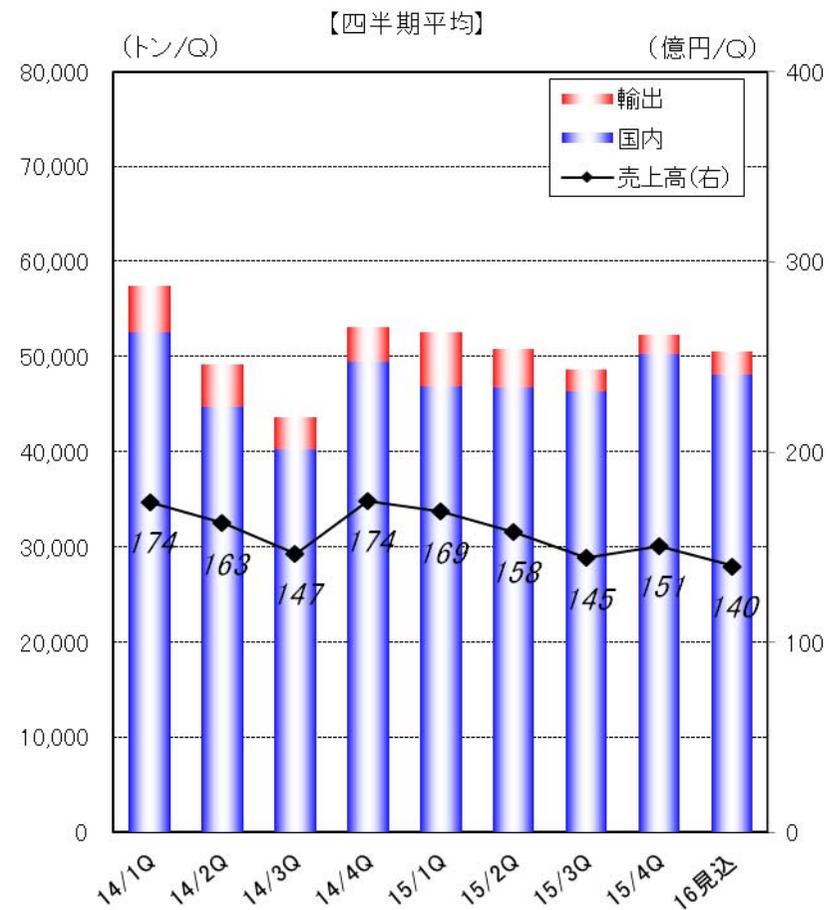
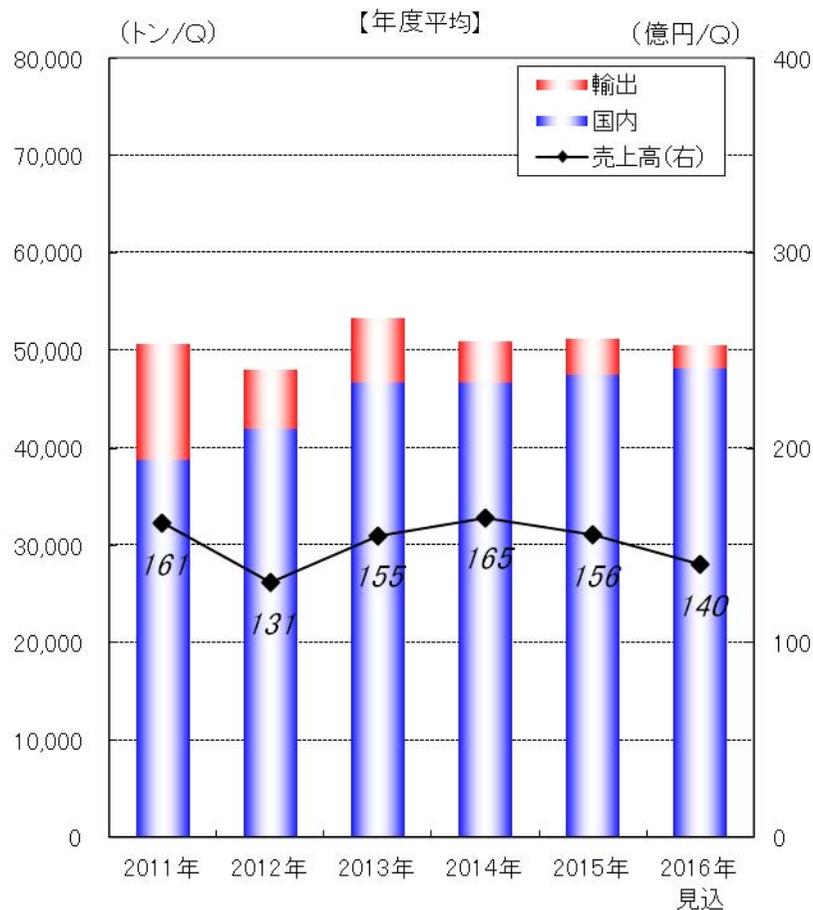
(出所) 鉄鋼新聞。

ステンレス(ニッケル系・クロム系)在庫の推移



販売量及び売上高《ステンレス一般材》

- ▶ LMEニッケル相場下落等を背景に、輸出を中心に数量・売上高が前年度比減少
- ▶ 15年1Qから3Qで減少傾向にあった販売数量は15年4Qに回復

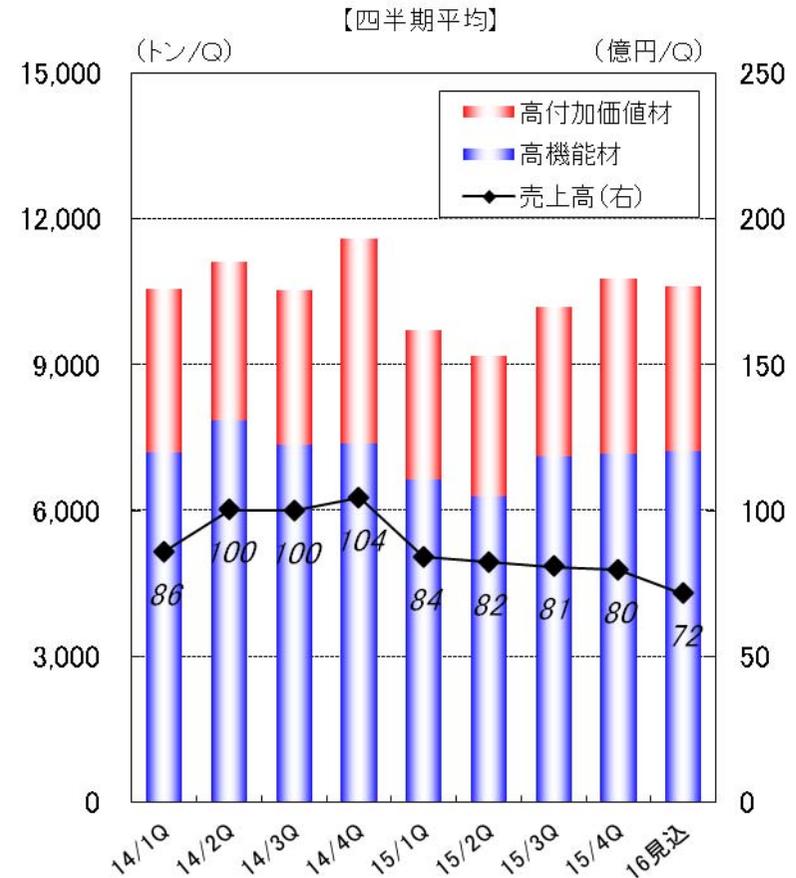
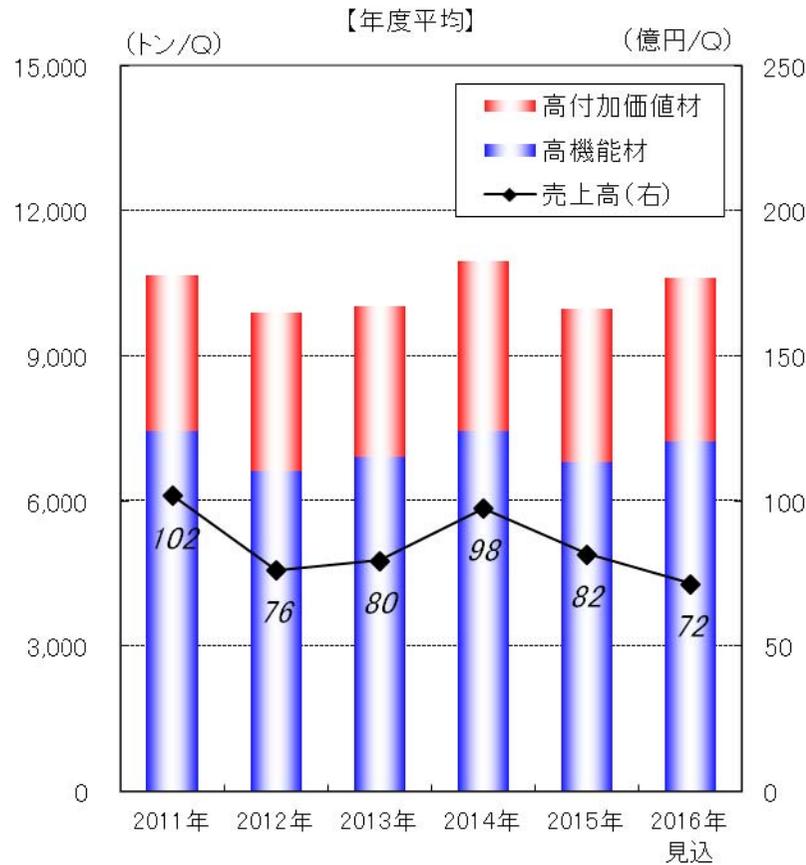


高機能材部門の状況

	前年度下期	今年度想定
国内	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 治水、水処理関連をはじめとする公共事業工事需要が堅調に推移 ➤ 国内外の航空機産業が好調で、航空機金型材の需要が旺盛 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 昨年度末に急激に円高が進行、間接輸出需要の冷え込みを懸念 ➤ 公共工事需要は引き続き堅調と想定
海外	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 原油相場低迷による石油・ガス関連プロジェクトは停滞、全世界での需要減退が続く ➤ FGD等の環境対策投資やシーズヒーター、バイメタル等の民間需要は堅調 ➤ 中国は自国経済の減速や石油・ガス関連投資の停滞により、需要は減退傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 原油相場は底を打ったと見られるが先行きは不透明、石油・ガス関連投資需要の早期回復は見込めず ➤ 環境対策への投資はグローバルな広がりを見せており、更なる需要拡大を見込む ➤ 航空機金型材には一部在庫調整が見られるものの、シーズヒーターやバイメタルの需要は今年度も堅調と想定、有機EL製造向け材料の需要拡大を期待

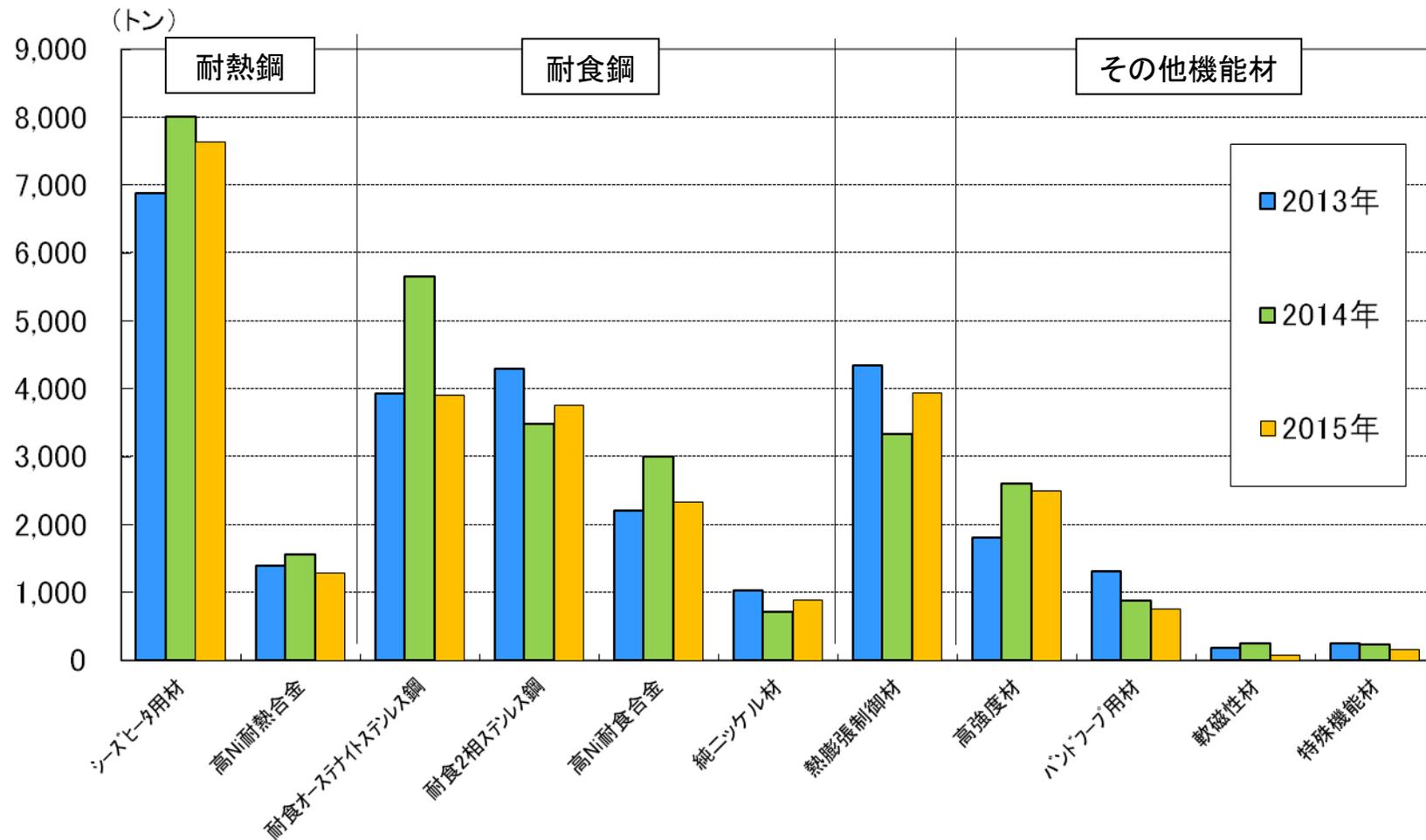
販売量及び売上高《高機能材部門合計》

- 原油安により石油・ガス関連分野向け需要が停滞、販売量・売上高共に減少
- 15年度下期には数量回復傾向へ



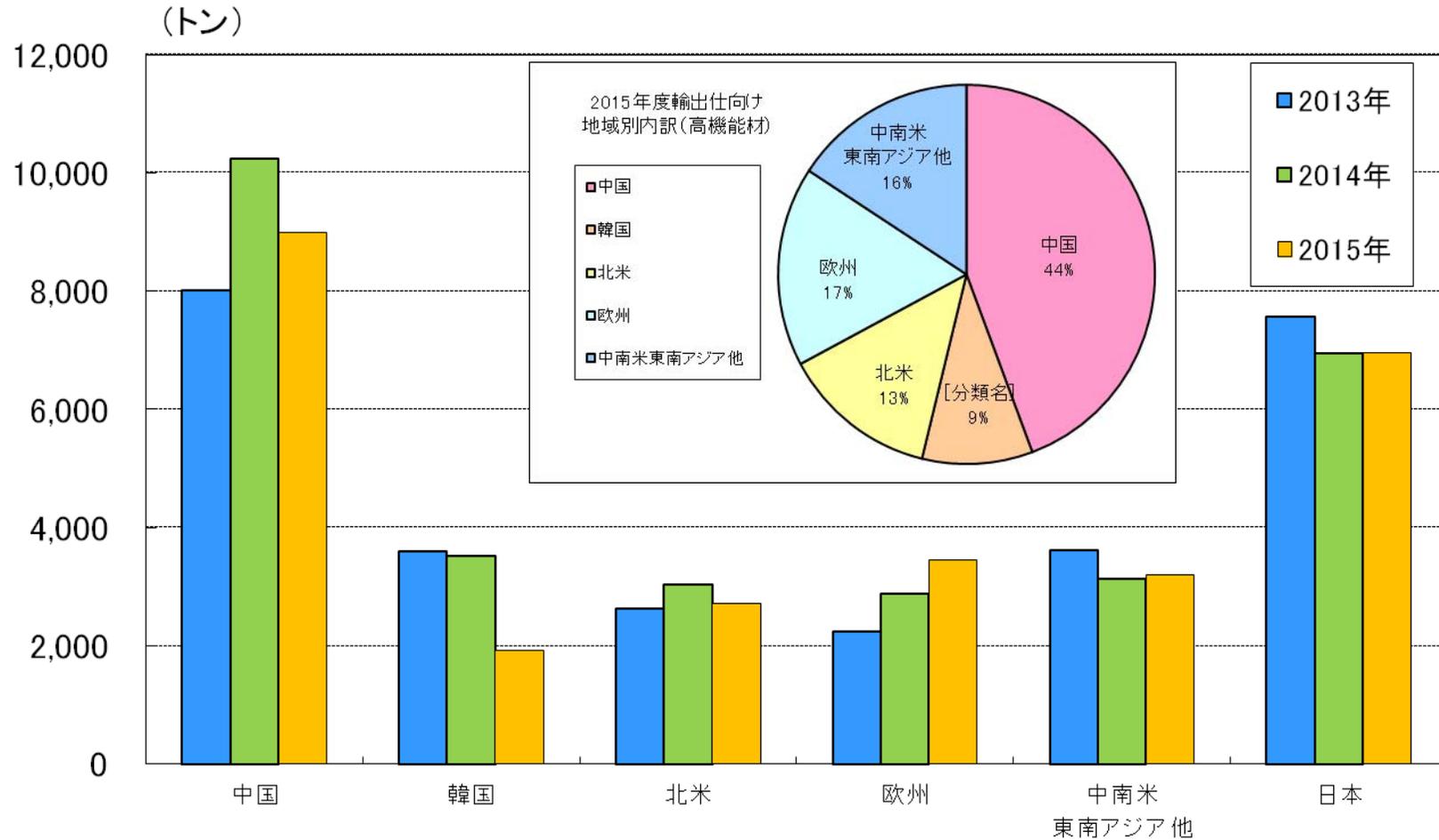
高機能材の分類別の推移(販売量)

➤ シーズヒーター用材、耐食2相ステンレス鋼、熱膨張制御材(航空機金型用)が堅調



高機能材の仕向け地別推移(販売量)

➤ 中国、韓国向け販売量が前年度比減少。他地域、国内は堅調。

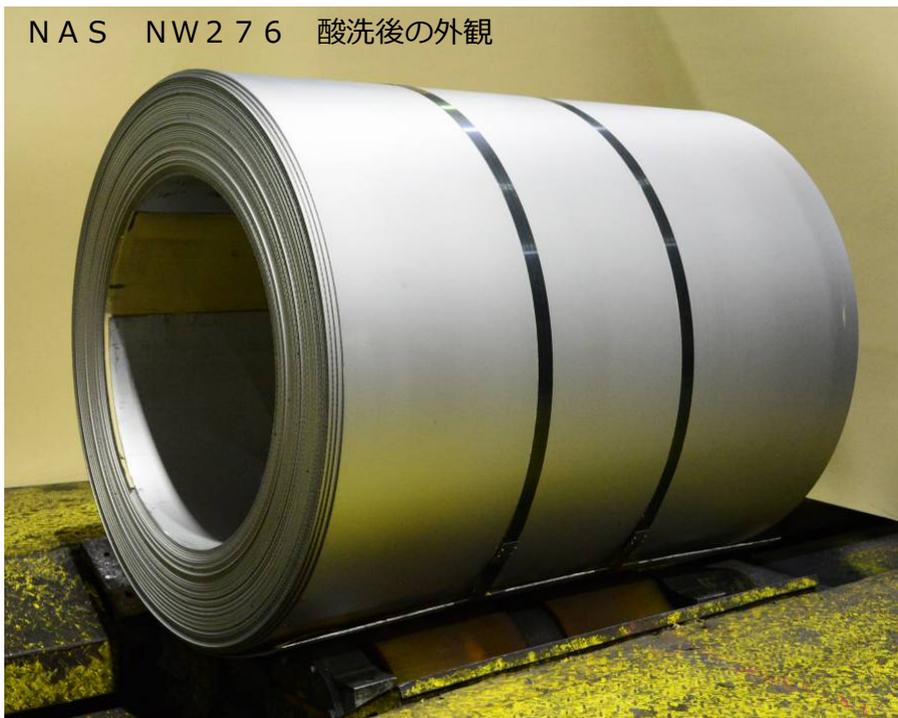


製品紹介

▶ 高ニッケル耐食合金広幅(4フィート)コイル

- ・NAS NW276 (UNS N10276) →販売開始
- ・NAS 625 (UNS N06625) →製造成功

NAS NW276 酸洗後の外観



【NW276、625とは】

(用途)
過酷な腐食環境下で使用される高機能材

- (採用例)
- ・火力発電所の排煙脱硫装置
 - ・プレート式熱交換器
 - ・水処理施設
 - ・オイル・ガス精製機器
 - ・化学タンク

広幅化のメリット → 溶接作業効率に優れる(市場の要望が強い)

配当について

- ▶ 2016年3月期末の配当
一株1円50 銭の配当を予定（7期ぶり復配）
- ▶ 2017年3月期の配当
現時点では未定

本日のアジェンダ

1. 2016年3月期決算サマリー

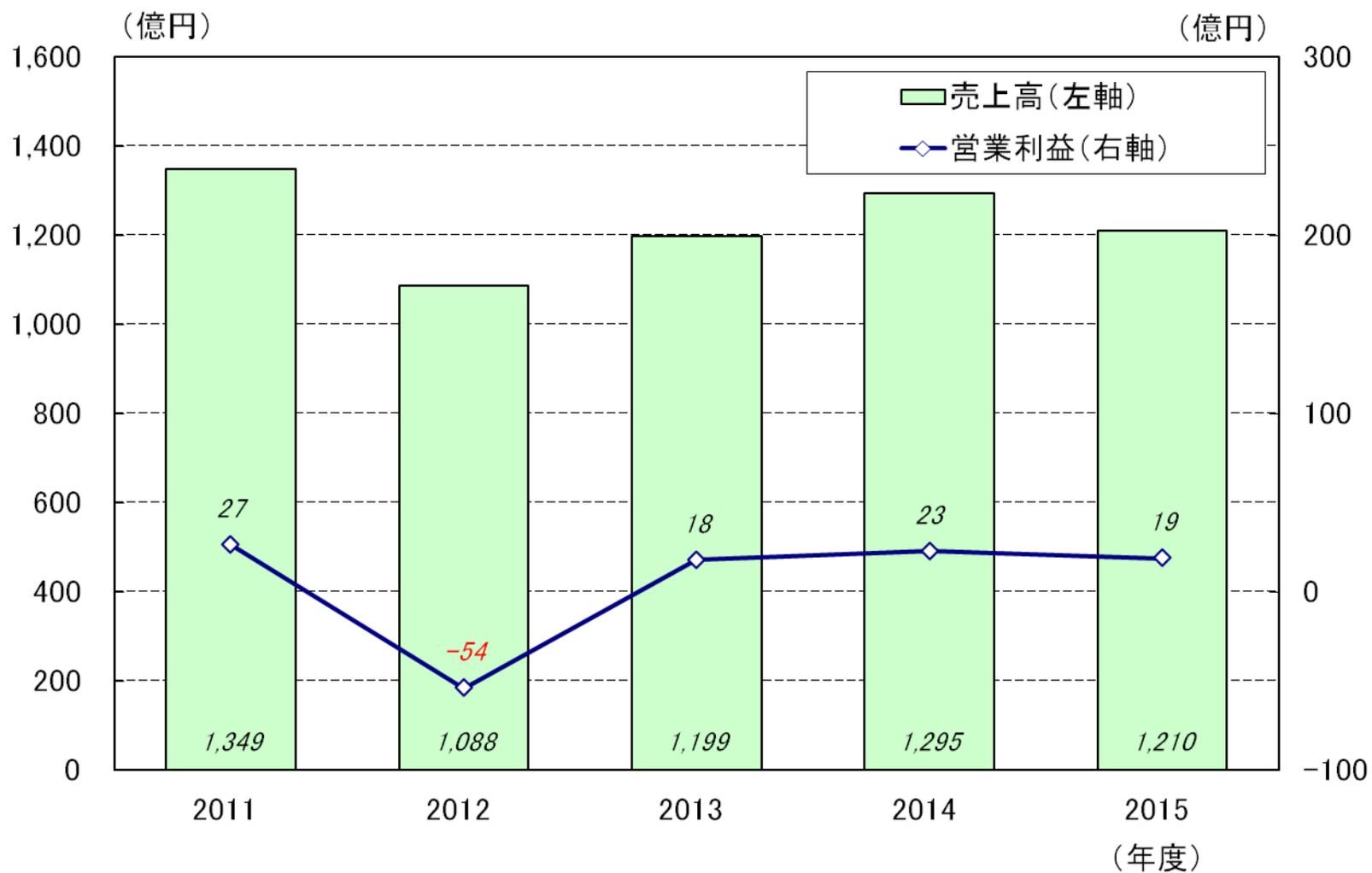
執行役員経理部長 小林 伸互

2. 足元の状況と今後の取り組み

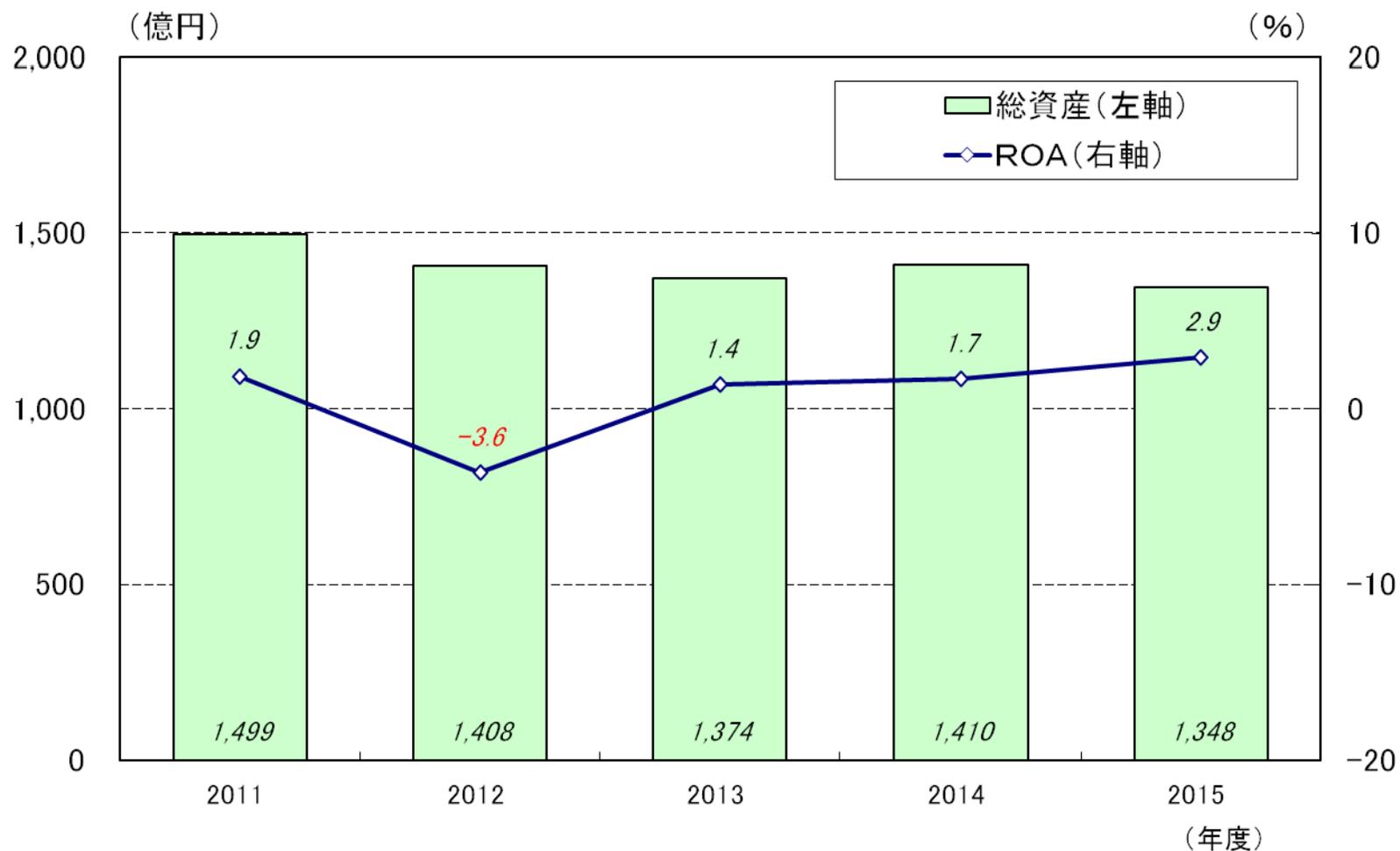
代表取締役社長 木村 始

<参考> 主要データ(連結ベース)

売上高・営業利益

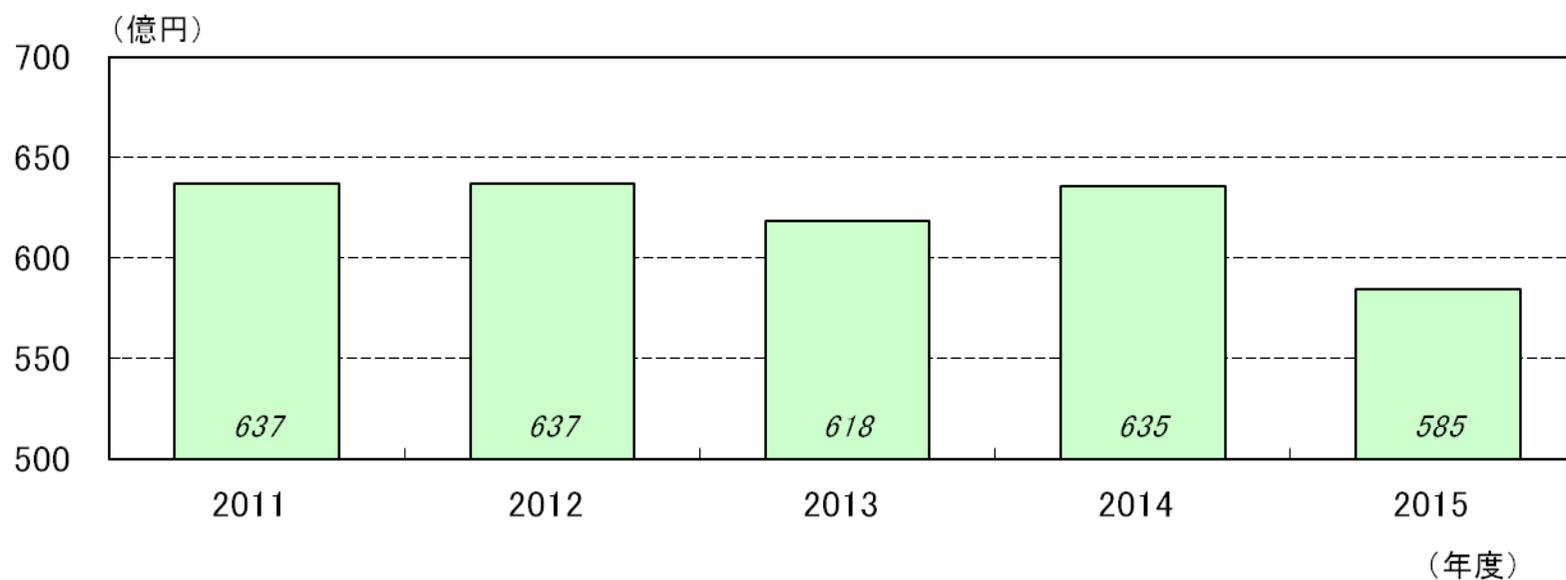
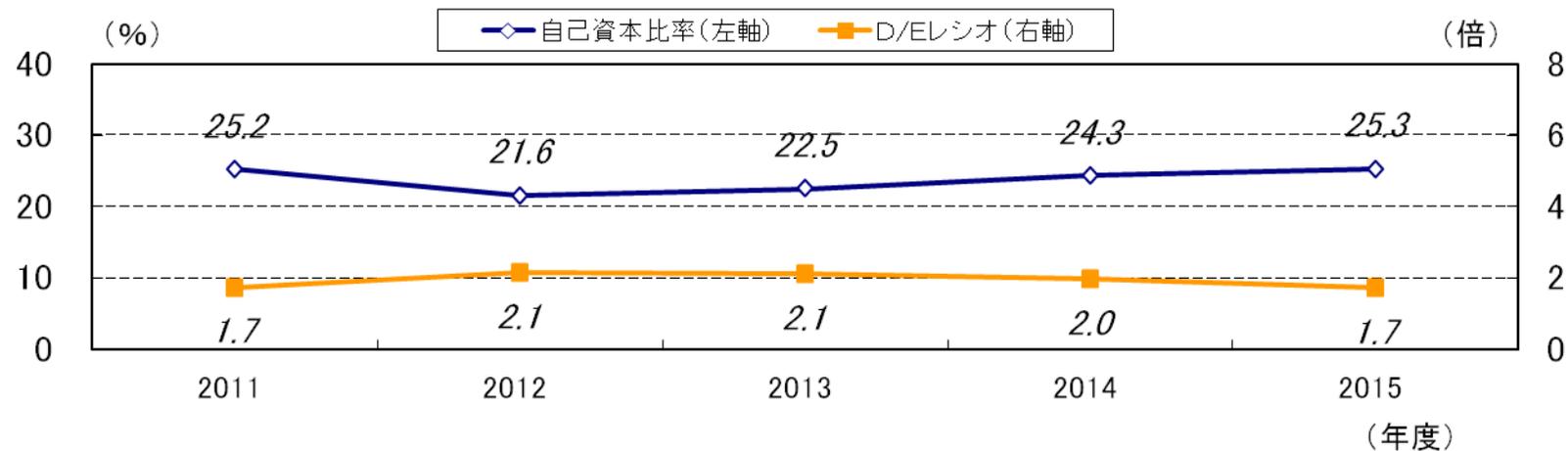


総資産額・ROA

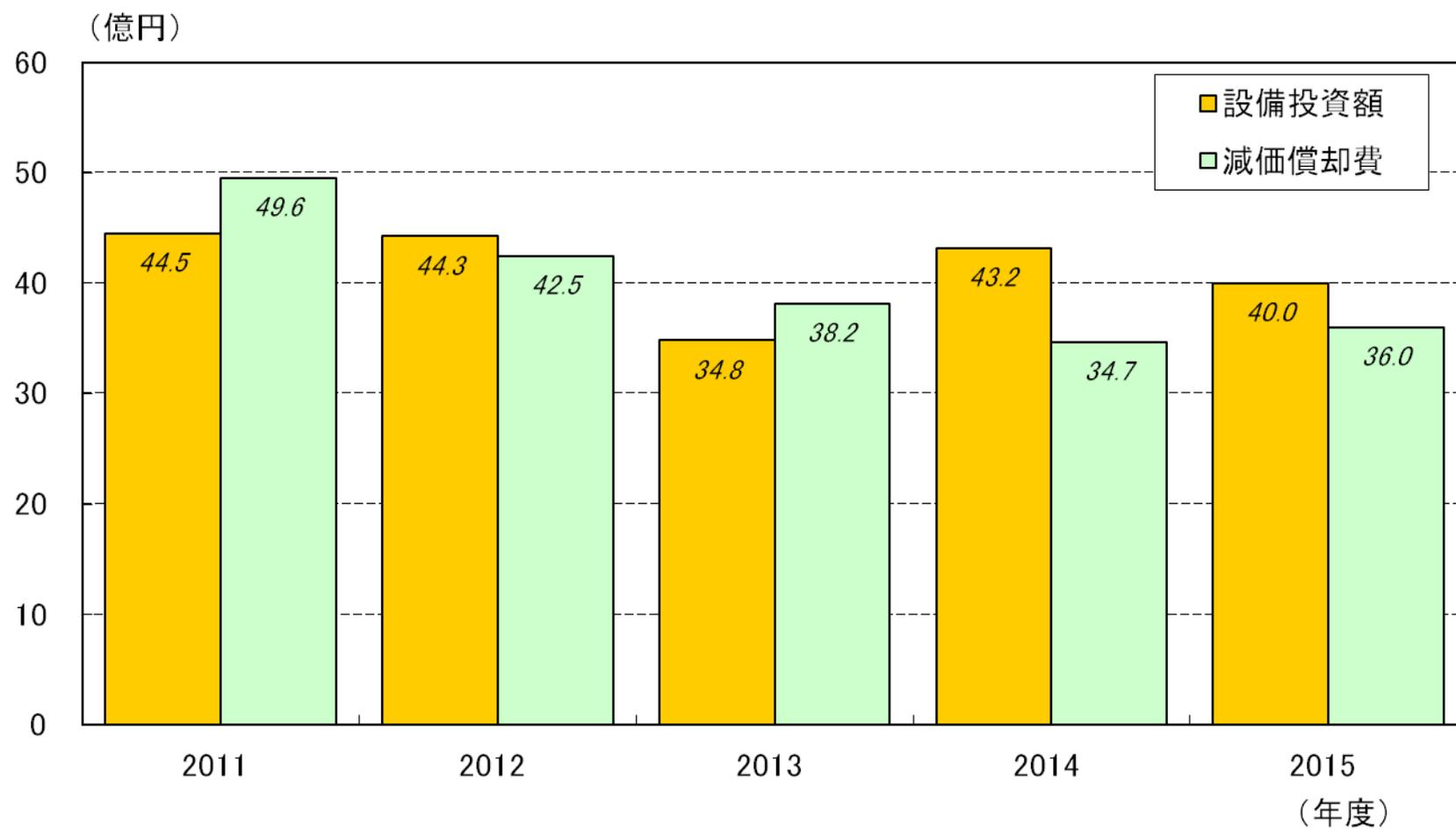


(注)ROAは(営業利益+受取利息・受取配当金)／期初・期末平均総資産

有利子負債残高と自己資本比率、D/Eレシオ



設備投資(連結ベース)



歴史あるステンレスメーカーから新しいステンレス特殊鋼メーカーへ
～そして競争力No.1の高機能材メーカーへ～

日本冶金工業

本資料のいかなる内容も、弊社株式の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料に掲載された計画や見通し、予測等は、現時点で入手可能な情報に基づいた弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切の責任を負いかねますので、ご承知下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

日本冶金工業株式会社 IR事務局

Tel. 03-3273-3613 /

E-MAIL. irjimu@nyk.jp